

平成27年度第1回横浜市保健医療協議会会議録	
日 時	平成27年7月30日（木）18時30分～20時30分
開催場所	開港記念会館 2階 6号室
出席者	和泉俊一郎委員、大久保一郎委員、叶谷由佳委員、鈴木野枝委員、高橋恵委員、伊丹昭委員、井上亮一委員、上島汐路委員、蟹澤多美江委員、佐伯彰委員、白井尚委員、杉浦由美子委員、杉山紀子委員、中野利彦委員、芳賀宏江委員、向井秀人委員、吉井宏委員
欠席者	鶴本明久委員、新井敏二郎委員
開催形態	公開（傍聴者0人）
議 題	<p>1 議題</p> <p>（1）副会長の選出について</p> <p>（2）地域医療構想の策定について（医療局）</p> <p>（3）平成27年度病床整備事前協議の実施に対する意見について（医療局）</p> <p>（4）横浜市がん対策推進計画（仮称）策定部会の設置について（医療局）</p> <p>2 報告</p> <p>（1）病床整備状況について</p> <p>（2）よこはま保健医療プラン2013進ちょく状況等について（26年度達成状況）（医療局）</p> <p>（3）平成27年度横浜市食品衛生監視指導計画について（健康福祉局）</p> <p>（4）よこはまウォーキングポイント事業の実施状況について（健康福祉局）</p>
決定事項	<p>1 副会長に白井委員を選任した。</p> <p>2 横浜北部医療圏の不足病床について、病床整備事前協議の対象とすることを横浜市長あてに報告することとした。また、病床整備部会の設置及びスケジュールを原案のとおり承認し、病床整備部会の部会長を大久保委員に決定した。</p> <p>3 がん対策推進計画（仮称）の策定に向けた専門部会「横浜市がん対策推進計画策定検討部会」の設置し、部会長を赤池信氏で決定した。</p>
議 事	<p>1 開会（委員・事務局・局長あいさつ）</p> <p>2 議題</p> <p>（1）副会長の選出について</p> <p>（大久保会長）協議会副会長の古谷委員が、横浜市医師会の役員改選によって交代されたため、新たな副会長の選任が必要となったことから、要綱に則り白井委員を選任したいが、いかがか。</p> <p>（委員）異議なし</p> <p>2（2）地域医療構想の策定について</p> <p>（大久保会長）</p>

	<p>それでは、議題（２）について説明願います。</p> <p>（事務局倉本課長） 地域医療構想の策定について説明。</p> <p>（大久保会長）</p> <p>ただいまの説明について、意見・質問等がありますか。</p> <p>（杉山委員）</p> <p>地域医療構想の実現に向けた調整の中で、あるべき医療体制として、在宅医療・介護の推進が挙げられており、私たち歯科医師会としても県行政、県歯科医師会から補助金を受け、二次保健医療圏ごとに在宅歯科医療連携拠点づくりを進めています。この拠点づくりによる事業が、18区が多職種協働の在宅医療連携事業とうまく連携をとっていけるような形でいい方向に結びつけたいと思っており、これが市内の急性期や亜急性期病床の入院患者さんや、回復され在宅で療養される患者さんに対する切れ目のない口腔機能管理につながるような、病床機能分化推進と同時にその部分をご配慮いただきたいと思っています。</p> <p>（大久保会長）</p> <p>今の意見について、事務局から何かありますか。</p> <p>（事務局倉本課長）</p> <p>杉山委員のご意見の趣旨を踏まえて、今後調整会議等でも検討していきます。</p> <p>（大久保会長）</p> <p>病床数の計算は複雑で、一度の説明では理解しにくいかと思いますが、2025年に向けた県の試算によると、横浜市全体で6,000～8,000床程度不足するというところで、これは喜んでいいことなのか、頑張らなければいけないのかなど、いろいろと議論はありますが、今まで病床の数が増やせなかった状況の中では、増やせるという意味ではいいこと、ある意味チャンスが与えられたのかなと思っています。吉井委員、病床数の話になりますので、何かご意見ありますか。</p> <p>（吉井委員）</p> <p>病床数が増える分にはいいと思うのですが、問題は、疾患別に分析して必要数を割り出してこないといけないかと思っています。結局、回復期の病床にしても相当足りなくなっていますが、例えば脳血管が足りないのか、運動器が足りないのか、どこがどのぐらい足りないのかといった分析をしっかりとこないか、いざ病床が配分されても、各医療機関は経営が成り立たないということもありますので、十分検討したほうがいいと思います。</p> <p>（大久保会長）</p> <p>市の説明で、本来は地域医療構想を二次医療圏ごとで個別に検討してい</p>
--	---

るが、横浜市として3医療圏をあわせて検討するという提案が出されたかと思います。検討する内容については、関係者が一堂に会して横浜市の3医療圏についてどのような医療ビジョンをつくるのかを検討していくということです。この議題としては、この調整会議の委員の名簿のメンバーで進めてもよいか、ということですが、よろしいでしょうか。

(委員)一同了承

(大久保会長)

特に異議がないので、提案のメンバーで進めていくことを当協議会は了解しました。メンバー構成以外に、地域医療構想のことにに関して質問・意見はありますか。

(白井副会長)

質問ではないのですが、厚生労働省が出してきた必要病床数ということをお案すると、横浜市は6000床、さらに病床を増やすことができるかもしれないというようなお話がありました。基準病床は既に都道府県ごとに決められていて、その基準病床についてはこの後の議題にある「病床整備の事前協議」が優先されるというふうに誤解がないようにしなければならぬのかなと考えているところです。その基準病床制度で、今のゴブレット型の病床数を、いかに2025年に向けて形を変えていくかという議論を、この会、あるいは地域医療構想調整会議でこれから進めていくのだと思っていますが、いかがですか。

(大久保会長)

事務局からお願いします。

(事務局・倉本課長)

そのとおりです。基準病床数は、この後の議題で病床整備の事前協議とも重なります。現状で、非常に病床の数が不足するという推計値が示されている一方で、現行の基準病床数もありますが、神奈川県によると現行医療計画における基準病床数と2025年度の必要病床数との整合について、現時点で国からは、この法的な対応等も含めてまだ示されていないということなので、次期医療計画以降にこの基準病床数を反映させるのではないかと聞いています。今後、国から基準病床数の扱いについて考え方が示されたら、それに沿った対応をしていく、ということで説明がありました。しかし本市としてはこれだけ厳しい不足数を確保するためには、病床を確保する取り組みも早めていく必要があると考えていますので、今後、基準病床数の扱いにつきまして、よく県とも調整してまいります。

2 (3) 平成27年度病床整備事前協議の実施に対する意見について

(大久保会長)

それでは議題（３）について、説明願います。

(事務局倉本課長)

平成27年度病床整備事前協議の実施に対する意見について説明。

(大久保会長)

事務局からのご説明によりますと、横浜北部医療圏で133床の病床が不足しているので、不足を満たしたらどうかという趣旨の説明があったかと思えます。ただいまの説明に関して質問・意見等ありますか。

(吉井委員)

北部医療圏の実態としては、高度急性期、急性期病院からの患者を受け入れる病院が足りません。結局、高度急性期・急性期病院が満床の状態、救急の患者とか、あるいはすぐに救出しなければいけない患者が受診しにくい状況になっていますので、この療養病床を第一優先にする、こういった133床を、ぜひともお願いしたいという気持ちがあります。

(大久保会長)

市の優先すべき配分として、まず1番目の療養病床をぜひ推進してほしいというご意見だと思います。ほかにありますか。昨年度は、事前協議なかったですよ。

(事務局・倉本課長)

昨年は配分できる病床数が非常に少なかったため、事前協議の効果が少ないのではないかとということで、事前協議を行わないということでご審議いただきました。

(白井副会長)

先ほど地域医療構想で話が出てきた病床の分類で、高度急性期、急性期、回復期、慢性期と分けているわけですが、今回のこの療養病床の位置づけは、先ほどの地域医療構想の策定に当たってはどこに位置するかをある程度もう考えながら選定する予定でしょうか。

(事務局・倉本課長)

この133床のうち130床については、平成25年の病床配分で配分しましたが、残念ながら整備ができなくなり返上された病床の合計数です。そうしたこともあり、まずは療養病床を優先させたいということなのですが、先ほどの病床区分でいきますと、主に慢性期、あるいは一部回復期に該当してくるものです。

(大久保会長)

療養病床を優先するということは、この地域医療構想の中にも関連して考慮していくということですね。ほかにありますか。よろしいですか。

(委員) [一同了承]

(大久保会長)

それでは133床、既存病床が基準病床を下回っているということですから、一定規模の病棟単位での病床整備ができるということになりますので、今後、病床整備事前協議を実施するという方向でよろしいかと思えます。特に皆さんからの異議がありませんでしたので、本協議会としては、横浜北部医療圏の不足病床について病床整備事前協議の対象にすべきであるという意見を横浜市長に報告させていただきたいと思えます。あわせて病床整備部会を設置すること、どのような病床に優先的に配分するかということについて市から説明がありましたが、具体的には、1番目に療養病床、そして2番目に緩和ケアの病床、そして3番目に新生児集中治療室、新生児治療回復室、そして4番目に小児集中治療室、この4つに優先的に配分していきたいというご提案が出ました。これも特に異議がありませんでしたので、これで進めていきたいと思えます。

この病床整備の協議会を開催するにあたり、部会を設置いたしますが、この部会の設置に当たり部会の構成員及び部会長は会長が指名することになっています。その前に皆さん方からご意見、推薦される方がどなたかいらっしゃいますか。

(吉井委員)

部会に当たっても、本会の趣旨を部会の人たちにも伝えていただけるのは大久保先生が一番ではないかと思えますので、できれば大久保会長にお願いしたいと思えますが、いかがですか。

(委員) [一同了承]

(大久保会長)

ありがとうございます。部会の部会長もあわせて務めさせていただきます。よろしくお願ひしたいと思えます。今、部会長が決まりましたので、部会の委員については副会長、事務局と相談しながら選任させていただきます。

## 2 (4) 横浜市がん対策推進計画 (仮称) 策定部会の設置について

(大久保会長)

2 (4) について事務局から説明願ひします。

(事務局・杉浦課長)

(大久保会長)

横浜市・林市長から当協議会の会長あてに諮問されました。内容は、がん対策推進計画の策定について委員会を開き、提案のメンバーで進めてよろしいか、という内容だと理解しました。意見・質問はありますか。平成30年までの策定期間の計画を、平成28年5月までに立てる、という

	<p>スケジュールでよろしいですか。</p> <p>(事務局杉浦課長)</p> <p>そうです。</p> <p>(大久保会長)</p> <p>平成30年以降は、場合によってはまた新たなプランを計画するという こともあり得るとのことですか。</p> <p>(事務局杉浦課長)</p> <p>よこはま保健医療プランは平成30年で改定されますので、それとの整合 性を図りつつ、がん対策推進計画についても、ステップ2の計画を立て ていく形になるかと思えます。</p> <p>(大久保会長)</p> <p>いずれにせよ検討期間が平成27年12月まで、そしてパブリックコメント を行うといった、タイトなスケジュールになりますので、この委員会は 精力的に開いていかなければなりません。特に意見・質問等がなけれ ば、この横浜市がん対策推進計画策定検討部会を設置するというこ とで、当協議会としてはよろしいでしょうか。</p> <p>(委 員) [一同了承]</p> <p>(大久保会長)</p> <p>特に異議がないようなので、これで進めます。</p> <p>それでは部会の設置をするにあたり、部会の構成員、部会長につい ては、これも会長が指名することになっています。部会長にはがんに関 する専門の知識と経験を有している方がふさわしいのではないかと考 えています。そこで部会長及び臨時委員として、神奈川県立がんセン ターの 前総長である、赤池信先生を本部会長に推選したいと思えますが、よ ろしいでしょうか。異議等ありますか。</p> <p>(委 員) [一同了承]</p> <p>(大久保会長)</p> <p>特に異議なしということで、赤池先生にこのがん対策推進計画策定 検討部会の部会長をお願いしたいと思います。部会の委員にいては、 部会 長、当協議会の副会長、事務局とも相談しながら決めていきたいと思 います。</p> <p>これで審議事項は終わりましたので、次に報告事項に移りますが、 審議 事項の中で、もう少し説明してほしいというところがありましたら、多 少予定より早く進んでいますので、時間を設けることができますが、 い かがでしょうか。</p> <p>(杉浦委員)</p> <p>看護協会の坂本会長は、2025年の高齢社会の次に来るのが多死社会と常</p>
--	--

に言っております。先ほど白井委員が、ワインのカップからヤクルト型に変えるに当たっては、増やすのではなくて、高度急性期から一般に移すなどベッドのやりくりも必要だということをお話されたと思います。その辺を含めて、6000～8000床の不足を補充する、ということで説明があったと思うのですが、そこから先のことも考えていかないと、多くなつた分、その多死社会が来たときに余ったベッドをどうするのかというところも加味して考えていく必要があるのかなと思います。意見なのですが、次の検討でその辺も含まれてくるといいのかなと考えましたので、よろしく願いいたします。

(大久保会長)

貴重なご意見をありがとうございます。ほかにございますか。

(吉井委員)

がん対策推進計画については、がんの診断や治療にしても、どんどん進歩していますので、その進歩をにらみながら継続的に計画を変更していかないといけないと思いますので、その辺の配慮をよろしく願います。

(大久保会長)

ご意見がありましたので、ぜひお願いしたいと思います。ほかになければ、次に報告事項に移りたいと思います。

### 3 報告

#### (1) 病床整備状況について

(大久保会長)

では最初に「病床整備状況について」、事務局から説明願います。

(事務局倉本課長) 病床整備状況について報告。

(大久保会長)

ただいまの説明について、ご意見・ご質問等ございますか。

では、私から感想を申し上げたいのですが、牧野リハビリテーション病院と、鶴見リハビリテーション病院、それぞれ120床、250床という、非常に多くの病床を配分したにもかかわらず、整備が進んでいないということに関して、いろいろな事情があるのですが、非常に残念に思っております。牧野リハビリテーション病院は、現在書類審査を受けているとありますが、これは書類審査まで来れば大体大丈夫と考えてよろしいのでしょうか。平成18年に許可しているものが、もう10年近くたっていますので、その辺の見通しについて少しわかる範囲で教えていただければと思います。

(事務局・高橋係長)

	<p>遅れていましたが、目途がついてきたという状況です。</p> <p>(事務局・倉本課長)</p> <p>資料では、現地の状況や建築計画等のお知らせ等も掲示して、開発行為の許可申請も行っているということで報告しております。</p> <p>(大久保会長)</p> <p>わかりました。少し安心いたしました。鶴見リハビリテーション病院はまだ先が見えないという感じなのでしょうか。</p> <p>(事務局岡田副局長)</p> <p>ご指摘のとおり、鶴見リハビリテーション病院も250床という大きい病床数を配分しており、必要な部分についても療養とリハビリテーションという、これから医療需要として必要な部分なので、私からも直接話を聞いております。現在、用地の確保はできていないが、引き続き、鶴見区内のもう一つの土地も含めて、何とか250床を整備するようにしたいと言っていますので、今後もよく話を聞いて、しっかりと必要な指導はしていきたいと思っております。</p> <p>(大久保会長)</p> <p>ほかにご質問はありますか。では、これは計画どおり進むように、市も引き続き指導していただければと思います。</p> <p>(2) よこはま保健医療プラン2013進ちよく状況等について (26年度達成状況)</p> <p>(大久保会長)</p> <p>報告(2)「よこはま保健医療プラン2013進ちよく状況等について」事務局から説明願います。</p> <p>(事務局・倉本課長)</p> <p>「よこはま保健医療プラン2013進ちよく状況等」について説明。</p> <p>(大久保会長)</p> <p>ただいまの説明について、意見・質問等ありますか。今日、ご出席の委員の方々は、おそらくこのプランにもかなり関与されてきたのではないかと思います。いかがですか。</p> <p>プラン策定時の目標というのは、何年を想定しているのですか。</p> <p>(事務局倉本課長)</p> <p>よこはま保健医療プランの最終年度となる平成29年度の末です。</p> <p>(大久保会長)</p> <p>これは検討事項ではないので、報告事項ということで承りますが、例えば結核罹患率が、目標が15.0%で、平成25年度に既に15.0%に達しているのですが、平成27年度の目標がまた同じでいいのですか。もっと下げないといけないのかなと普通に思うのですが、どうですか。</p>
--	---



(事務局・岩田部長)

これは国の目標が15%ということで、横浜市は結構罹患率が高かったので、すぐに達成できないと思っておりました。平成25年度に15%は達成できているのですが、これがきちんと維持できるかも非常に大切なので、それで引き続き15%ということで見ております。平成26年度はまだ数字は出ていないのですが、若干は高いかもしれないかなという危惧もしておりますので、この数字をしっかりと維持していくというところと、もう少したたないと、これより低い数字というのはまた難しいところかなと思っています。

(大久保会長)

N I C U病床数は平成26年度が90床で、平成27年度の目標が92床ということで2床ふやすという計画ですが、先ほどの病床整備の計画で、優先順位として3番目か4番目にN I C Uがありました。これから部会で議論になるかと思うのですが、もし5床つくりたいとしたときは95床になってしまいますが、それはやむを得ないということでしょうか。それとも予定が92床なので、5床の希望を2床にするなどの対応となるのでしょうか。この目標はどこまで厳格に考えるかということなのです。

(事務局・倉本課長)

部会での議論になるかと思いますが、新生児集中治療室を含めた、あるいはG C UといったN I C Uの後方施設、またP I C Uといった小児集中治療、こうした小児のケアユニットが不足しているということで優先順位としたものですので、総じて小児系の集中治療ということでお取り扱いいただければと思います。

(大久保会長)

ほかにございますか。

(芳賀委員)

今回の保健医療プランの1つの特徴で、在宅医療、特にまた終末期医療という項目が挙げられたことを思い出しまして、先ほどの進捗の中で、目標としてはこの在宅医療また終末期医療のところは連携拠点の整備ということになっていますが、現状について関心があった項目がありましたので質問させていただきたいのです。今後の施策のところ、終末期医療に関する啓発という項目がありましたが、このあたりの市民啓発というものの具体的な取り組み状況等を教えていただけたらありがたいと思います。

(事務局・藤井課長)

「在宅医療」の医療と介護の連携については、予定以上に進んでいる状

	<p>況でいます。平成27年度に入っても順次新たな区で整備が進んでおり、現在12区で在宅医療連携拠点を医師会の協力をいただいて開設実施しています。各区拠点では、市民啓発事業として、終末期医療を取り上げているほか、リビングウィルも含めた在宅の患者さんの情報をファイルに合わせて活用するなどの、取り組みを進めております。</p> <p>3（3）平成27年度横浜市食品衛生監視指導計画について  （大久保会長）  報告事項（3）「平成27年度横浜市食品衛生監視指導計画について」説明願います。  （事務局・泉課長）「平成27年度横浜市食品衛生監視指導計画」について説明。  （大久保会長）  ただいまのご説明につきまして、意見・質問等ありますか。我々も普段、注意しなければいけないということがよくわかりました。</p> <p>3（4）よこはまウォーキングポイント事業の実施状況について  （大久保会長）  報告事項（4）「よこはまウォーキングポイント事業の実施状況について」事務局から説明願います。  （事務局・田中部長）  「よこはまウォーキングポイント事業の実施状況について」説明  （大久保会長）  今の説明に関して意見・質問等ありますか。参加者は順調に増えているということで、今後は、本当に効果があったかどうかを検証しようという次のステージに入ってきているかなと思います。</p> <p>4 その他  （大久保会長）  それでは本日すべて終了しましたので、事務局から何かございましたらよろしくお願いいたします。  （事務局倉本課長）  次回（第2回）の保健医療協議会は、来年2月ごろに開催を予定しています。病床配分の部会意見の審議や、地域医療構想の検討状況、がん対策推進計画の部会案の報告等を予定しています。</p>
資料 ・	1 資料 ・資料1 : 横浜市保健医療協議会運営要綱

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2 : 地域医療構想の策定について</li> <li>・資料3 : 平成27年度病床整備事前協議の実施について</li> <li>・資料4 : 横浜市がん対策推進計画（仮称）の策定について（諮問）</li> <li>・資料5 : 病床配分後の病床整備の状況（平成27年6月現在）</li> <li>・資料6 : よこはま保健医療プラン2013進ちょく状況（平成26年度）</li> <li>・資料7 : 平成27年度 横浜市食品衛生監視指導計画（概要版）</li> <li>・資料8 : よこはまウォーキングポイント事業の実施状況について</li> </ul> <p>2 特記事項</p> <p>次回は平成28年2月ごろに開催予定。</p>
------	--